

こんにちは

日本共産党市会議員

森田 ゆみ子 です



子どもには笑顔
若者に仕事を
老後には安心を。



2016/1/21

日本共産党京都市会議員団 tel 222-3728 fax 211-2130
市会議員団ホームページ<http://cpgkyoto.jp/>

森田ゆみ子ホームページ<http://morita-yumiko.jp/>

～ボランティアまかせでなく、京都市が責任もった地域支援を～

12月22日のくらし環境委員会で「京都地域コミュニティ活性化推進計画」について質問しました。

今の市長のもとでの市政は、行政の仕事を極力へらし、市民に我慢と相互責任を押し付けるという方向に貫かれています。

年末の委員会で、地域づくりの問題で質疑を行いました。

コミュニティ活性化とは、町内会の加入率を上げて困った時はみんなで助け合うという、一見すばらしいような計画ですが、このような市民参加の活動の実態は、本来行政がすべき仕事を市民に肩代わりさせるものだったり、市からは予算措置すらなくボランティア市民の持ち出しにもなっているという問題がたくさんあります。

私の質問でも、PTA活動や健康体操などの活動でも、とりくみに参加する時や、市が主催する会議などに参加する際でも交通費すら出さず持ち出しになっていることを質問し、解決してほしいと要望しました。

答弁された担当者は部局が違うからと、実態すらつかないでいました。地域内で苦勞している実態に即した援助ではなく、市の各部局の形だけの対策でとなっており、予算や必要な経費の補助などはなく、現場まかせの市政の姿がうきぼりになりました。

町内会活動については、朝早くから夜遅くまで夫婦共稼ぎで自治会の行事に参加できないことや、町内会費集めすらままならない実態など、具体的な手立にかかわって質問



京都市 web で配信されている動画より

しました。また、役員の輪番のむつかしさや、市民新聞など市政協力委員としての配布活動について、町内会に参加していない家庭にも配布する義務でのトラブルなどをあげ、こうした実態をどうするのかと質問しました。「むつかしい問題。町内会の最大のメリットは、近所とつながりが深まると住みやすくなるが、町内会費を払ってまで参加するメリットとなるとむつかしい」という答えがあっただけでした。

他の議員も、「森田議員もおっしゃっていたが…」など、実態に即していない縦割り行政のおざなりの計画となっていることが問題となっていました。

◆上鳥羽の西高瀬川の転落防止柵の工事が始まりました

上鳥羽の西高瀬川で、昨年7月に住民が転落し大けがを負う事故があり、早急に改善するよう土木事務所に申し入れを行っていました。いよいよ転落防止柵の工事が始まりました。

工事前→
↓工事開始後



-- 戦争法廃止！

--2月7日女性憲法市長の実現を！

本田久美子さんが街頭で訴えています。
大河原参議院予定候補も奮闘中です。

いよいよ、市長選挙は、1月24日告示です。投票は2月7日。戦争法阻止の大きな力となる憲法市長の誕生を。市民の声をきかない市政は変えましょう。本田久美子さんといっしょに、市政を変えましょう。



1/9九条七本松でお話している本田久美子さん。